

千葉県営水道事業 中期経営計画

令和3年度から7年度までの水道事業経営に関する基本計画であり、水道事業を運営する上での実施計画となる「中期経営計画」を策定しました。

【基本理念】

いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、お客様が安心し、信頼を寄せる水道

目指す姿

「強靱」な 水道の構築



耐震継手管のデモンストレーション(クレーンによる吊り下げ)
[提供:日本ダクタイル鉄管協会]

○安定給水の確保

「ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備事業」について、令和5年度稼働を目指します。

○災害に強い施設整備の推進

「小中口径管路更新延長」は、現状の70km/年から80km/年に強化します。

「湾岸埋立地域における管路の耐震化率」は、現状の47.7%から70.0%へ向上を目指します。

「最重要給水施設への管路の耐震化率」は、現状の25.4%から80.0%へ向上を目指します。

○危機管理体制の充実

給水区域内11市等関係機関との連携強化(合同訓練の実施等)を図ります。

「安全」な 水の供給



○安全で安心な水づくり

「水道水における水質基準超過件数」は、引き続き0件を維持します。

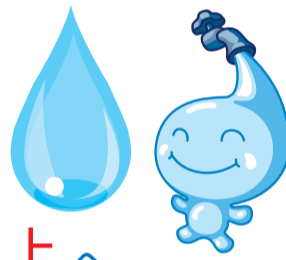
○おいしい水の供給

「水道水の飲み水としての満足度」は、現状の78%から80%以上へ向上を目指します。

満足度 **78%**

から

80%以上へ



お客様からの 「信頼」の 確保



○お客様サービスの向上

支払方法の多様化や手続き等のオンライン化を図ります。

- ・クレジットカード払い(令和4年度以降予定)等の導入
- ・各種手続(使用開始・中止等)、問い合わせ、ご相談等のオンライン化

○大規模事業体の責務と社会貢献

環境負荷の低減に向けた取組や国際貢献及び他事業体への技術支援に努めます。

○運営基盤の強化

人材の育成や確保、業務の効率化、費用の削減等により健全経営の推進に努めます。



応急給水活動(かずさ水道広域連合企業団)



ペットボトル飲料水約1万本の提供(南房総市)

行いました 応急給水活動を

南房総市の湯水対応やかずさ水道広域連合企業団の漏水事故対応への応援活動を行いました。

南房総市には、令和2年12月21日に備蓄しているペットボトル飲料水「ちばポタ」(500ml)約1万本を無償提供するとともに、同日から1月26日までの期間において給水車延べ132台、職員延べ269人を派遣し、学校や社会福祉施設等への応急給水活動を実施しました。

また、かずさ水道広域連合企業団には、令和2年12月29日から令和3年1月3日までの期間において給水車延べ18台、職員延べ35人を派遣し、住民への応急給水活動を富津市で実施しました。さらに、非常用飲料水袋の要請もあり、提供しました。

今後も、県営水道では、大規模災害や不測の事故に備え、迅速かつ的確に対応できる体制の充実を図ります。



ペットボトル飲料水「ちばポタ」



後日、ステキな花束をいただきました